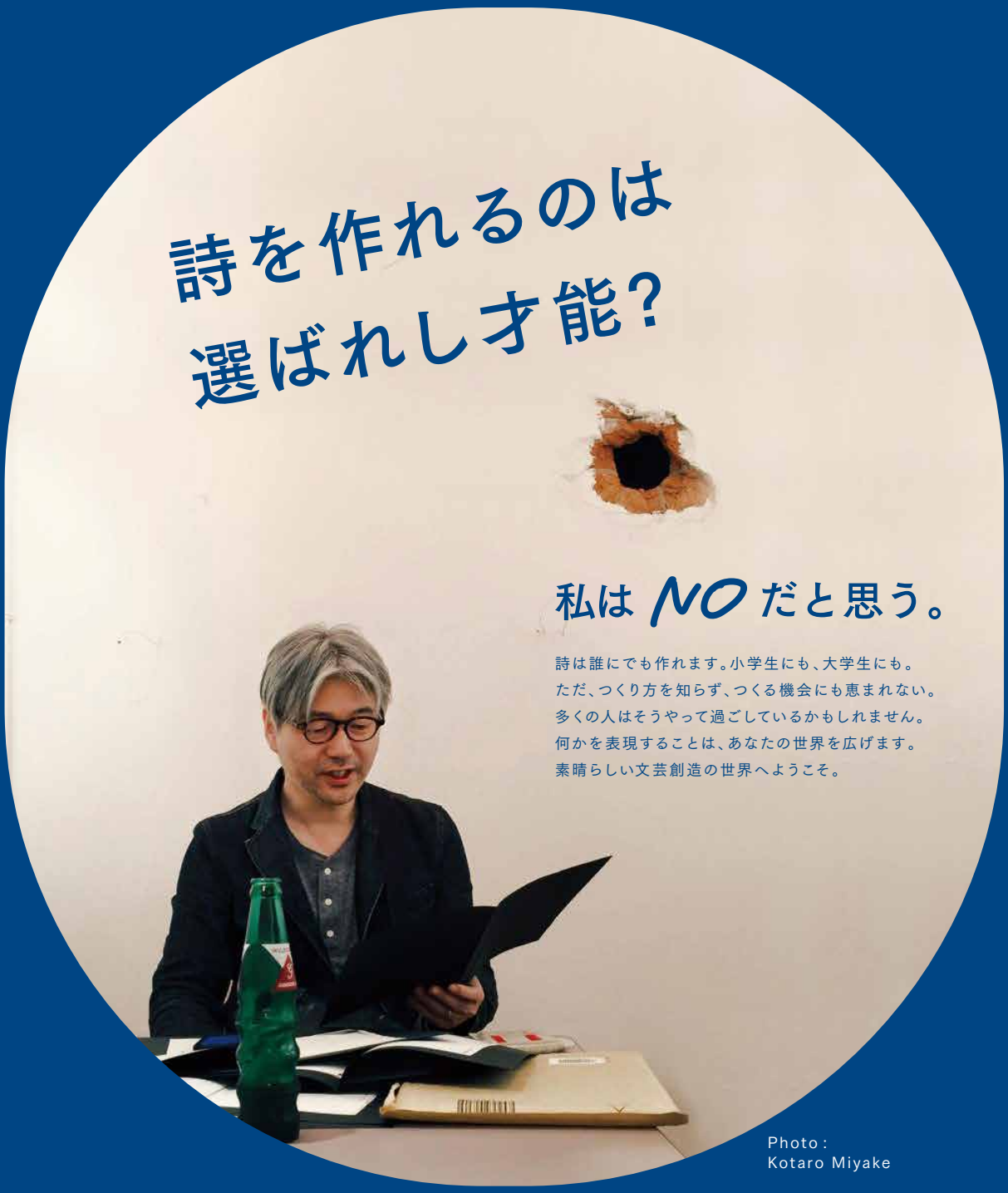
OKAYAMA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF EDUCATION

GOOD PROFESSOR FILE

詩を作れるのは選ばれし才能?



私は NO だと思う。

詩は誰にでも作れます。小学生にも、大学生にも。
ただ、つくり方を知らず、つくる機会にも恵まれない。
多くの人はそうやって過ごしているかもしれません。
何かを表現することは、あなたの世界を広げます。
素晴らしい文芸創造の世界へようこそ。

Photo :
Kotaro Miyake

岡田 和也
OKADA KAZUYA

教育学域 准教授

大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当

学 位
文学博士

専門 **人文・社会 / 文学一般**

研究キーワード **文学 朗読**

授業内容

1学期 英語の詩の基本的復習と英語で詩を創作する経験
2学期 英語の詩を書くときのテクニック
3学期 英語で詩を書くこととそれを日本語で把握すること
4学期 英語の詩と自分と向き合うこと

主要研究課題

近現代英語圏の詩人の研究。
英語絵本の研究。言語創作活動の研究。

もっと知るには

OKAYAMA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF EDUCATION

GOOD PROFESSOR FILE

みごの創造的英文学

文学教育 × 詩人

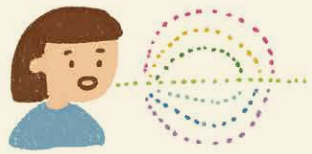
01 詩人みごなごみの活動

私は大学で教鞭をふるいながら、詩人 みごなごみとして活動しています。詩集を作ったり、絵本の翻訳をしたりしながら、カフェで、プラネタリウムで、ライブミュージシャンのように詩を朗読してきました。2004年『彼岸バス』で松崎義行賞など。

02 詩人に学ぶ文学教育

詩は特別なものではなく、誰もが扱える表現の一つ。文学教育の基本を押さえつつ、詩の視点を取り入れた授業では、詩を実用的かつ創造的なツールとして扱います。詩を「読む」のはもちろん、「つくり」、「使う」力を磨くことで、あなたの教師人生はもっと豊かになることでしょう。

03 魅力的な言葉を放つために



まず大切なのは、声に出して読むこと。命のこもった文章は読むたびに味わいが深まります。読むと紡ぐを正しく繰り返すうちに、あなたも生きた言葉を生捕にする感覚が掴めるはず。詩や英文学を通して言葉との対決を繰り返していきましょう。

04 自分にもできた！が子どもを育てる

自分ができないことは、子どもにも教えられないでしょう。まずはあなた自身が、表現を楽しみ、成功体験を積み上げてください。そのために必要なちょうどいい踏み台を用意して待っています。

05 英文学者

研究内容はマザーグース翻訳を用いたものをはじめ、英語圏でのこどものために書かれた詩作品の分析など多岐に渡ります。翻訳絵本として、サラ・ファネリ『オニオンの大脱走』(ファイドン, 2012年)などもあります。

06 人に伝える恐怖 人に伝わる楽しさ

先生とは恥を捨てることが大切です。授業やワークショップでは、参加者の心をほぐしてその気にさせる為に知恵を絞ります。その準備や実践を通して、人に伝える難しさと怖さを知り、その先に待つ伝わる楽しさも味わって欲しいと思います。

07 体験を重視 ワークショップ

例えば小学生50人と「か」のつく言葉で詩を作るワークショップ、中学生150人と詩をつくるなんてことも。ワークショップに限らず、体験を通じての成長を重視しています。「みご先生の授業は卒業してから生きてくる」、なんて言われることもしばしば。

08 創造性教育

近年は創造性教育にも力を入れています。「詩や絵や言葉の応用と分析」をベースに、様々な授業をおこなっています。例えば、「ある絵画を見てそれを詩にして表してみる」なんてワクワクしませんか？

研究室からの風景
SCENERY FROM THE LABORATORY

その人は右側を歩いています。
もうひとりの人は左からやってきます。
ちょうどその真ん中に鳩がいます。
あなたはそれを鏡で見ていました。
さて魔術師はどこにいったでしょう。

空欄に言葉を入れて詩を作ろう

その人は□□□□□□います。
もうひとりの人は□□□□□□□□す。
ちょうど□□□□□□□□□す。
あなたは□□□□□見ていました。
さて□□□は□□□□□□□でしょう。

どうですか。ちょっと、挑戦したくなったんじゃないでしょうか。あなたの世界を表現してみてください。ポエムって最高でしょ。

岡田 和也
OKADA KAZUYA

専門 人文・社会 / 文学一般

研究キーワード 文学 朗読

もっと知るには